

第2回市民憲章改定案検討会議録（要約）

【開催日時】

平成28年10月31日（月） 15:00～17:00

【開催場所】

木更津市役所 駅前庁舎8階 防災室・会議室

【出席委員】

阿曾委員、池田委員、黒川委員、小関委員、鈴木委員、野田委員、長谷川委員、宮沢委員、三好委員

【会議の公開・傍聴人について】

公開、傍聴人なし

【会議内容】

以下のとおり

1. 議題

（1）各委員からの提案について

資料1に基づき事務局から説明した後、各委員から提案のあったキーワード・文案等について補足説明があり、意見交換を行った。

【主な質疑・意見等】

- 他市の市民憲章を見ると、「～まちをつくります。」と表現しているところと、「～します。」と表現しているところがあり、どちらかにするか協議すべき。
- 出来るだけ漢字を使わない平易な表現にすることは良いことだと思う。
- 前回提示された「改定にあたっての基準」を全て満たすのは、非常に難しい。
- 市が進めている「オーガニックなまちづくり」に共感するので、是非盛り込みたい。
- 方言を盛り込むのも良いかもしれない。

（2）市民憲章改定案の方向性について

各委員からの提案・意見を踏まえ、市民憲章改定案の方向性について意見交換した。

【主な質疑・意見等】

①構成について

- 長文でなく簡潔な市民憲章にしたい。
- 前文、本文の構成とし、場合によっては解釈文を付ける方向で検討する。

②前文に盛り込む言葉について

- 過去があって今があり、未来があるので、そういった時間軸を表現していきたい。
- 受け継ぐといった言葉が入ると、過去からのバトンを受け継ぐイメージが湧くと思う。
- 前文で、目指すまちの姿を表現し、本文で、具体的に取り組むべき行動を表現したい。

③本文に盛り込む言葉について

●市民の行動規範であれば、どのように行動していきたいという表現とした方が良いと思う。

●語呂合わせで提案のあった「き[●]つと、さ[●]らに、ず[●]つと」は、良いと思う。

●語呂合わせにこだわらず、実はこんな意味だったと後で分かるような、あえて隠す構成も面白いと思う。

●方言を盛り込むことにより、歴史のイメージも湧くと思う。

●「～まちをつくります。」では行政の指針のようになってしまう。このまちを創るのは市民一人ひとりなので、そのためには、こういった行動を取ろうといった内容になるよう考えて盛り込みたい。

④原案としたい提案について

●各委員からの提案内容を踏まえ案文をつくりたい。

⑤本文の結語について

●皆に呼びかけるような「～しましょう」という言い方が良いと思う。

(3) その他

次回日程については、11月9日(水)開催予定

次回の会議では、今回の各委員からの意見を踏まえ、事務局においてたたき台をとりまとめ、意見交換を行うものとする。